

発言No.

12

受付No. 1

令和 7 年 11 月 10 日

9 時 54 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 12 番

氏名 川 上 幾 雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長 ☒ 教育長 ☒ 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 地域の現状について

三浦新市長が、今回の選挙戦で市内全域を歩かれており、以下について質問する。

(1) 住民の声や市内の現状受止めについて

- ① 市民の声をどのように受け止められたかを問う。
- ② 市内全域を俯瞰した実感を問う。

2 浜田の現状認識について

(1) 空き家問題と地域維持について

- ① 空き家対策をどう位置付けているのかを問う。
- ② 山間部や沿岸部での空き家への対応策を問う。

(2) 市道整備と生活インフラについて

- ① 市道の維持・補修をどのように優先づけるのかを問う。
- ② 地域要望と予算配分の透明性をどう確保するのかを問う。

(3) 公共施設の老朽化について

- ① 公共施設マネジメントの見直しを行うのかを問う。
- ② 施設の再編・統合を含めた施策を示されるのかを問う。

(4) 農林水産業について

- ① 水産業の現状をどのように受け止めているのかを問う。
- ② 農・畜産業の現状をどのように受け止めているのかを問う。
- ③ 林業の現状をどのように受け止めているのかを問う。

3 教育と若者定着について

(1) 教育の魅力化について

- ① 教育魅力化施策を検討されるのかを問う。

(2) 教育環境と若者定着について

- ①教育を通じた若者の地域定住策について問う。

4 地域経済と産業振興について

前市政においては大型施設を設置又は購入されており、以下について質問する。

(1) 高度衛生管理型荷さばき所について

- ①現在の稼働率・採算性をどのように捉えているのかを問う。
- ②今後の利用拡大策をどのように描いているのかを問う。
- ③水産業を稼げる産業に変えるための具体策を問う。

(2) 道の駅ゆうひパーク浜田について

- ①新たな「道の駅」として期待する機能は何かを問う。
- ②地元事業者や若者が参画できる運営体制の検討はされないのか問う。

5 市政運営の透明性と信頼回復について

市民の最大の関心事は「市政が公正であるかどうか」です

(1) 不祥事の説明責任について

- ①「有ったとも無かったとも言えない」事案についての対応を問う。

(2) 随意契約・指定管理・補助金交付について

- ①随意契約・指定管理・補助金交付に関する情報の公開拡大の検討を問う。
- ②利害関係者との関係整理と倫理規範の明確化を問う。

6 新市長としての市民への思いについて

(1) 将来像と決意について

- ①新市長として市民へ示される将来像を問う。
- ②市民に伝えたい決意について問う。

発言No.

13

受付No.

15

令和7年11月20日

9時57分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 笹田 卓

答弁を求める者

☐ 市長

☐ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員会委員長

1 三浦新市長の所信表明に関する今後の施策について

(1)「こどもにやさしい環境をつくる」について

①「こどもたちの声が社会へ届けられるよう、学校や地域で意見表明や参加の機会を保障する条例の制定に取り組む」と述べられたが、条例の内容、スケジュールなど、条例制定に向けた計画について伺う。

②「浜田市こども計画」の基本理念である「こどもや若者が自分らしく生きるまちへ」の実現に向け、どのような具体的な施策に取り組むのか伺う。

(2)「社会教育をまちづくりの土台に」について

①本庁・各支所担当課職員やまちづくりセンター職員などを中心に、各地域の課題解決や地区まちづくり推進委員会の活動・設立を支援していくとあるが、その具体策について伺う。

②学校や地域、市民ボランティアと連携し、図書館機能や美術館機能の更なる向上を図るとあるが、具体策を伺う。

③浜田郷土資料館は建築後60年以上が経過し老朽化が著しいことから、建替え整備に取り組むとある。施設内容、スケジュールなど、建替えに向けた計画を伺う。

(3)「メリハリある施設整備と民間協働」について

①浜田市の玄関口である浜田駅周辺について、関係者や市民と対話しながら早期にグランドデザインを策定するとあるが、策定に向けた計画を伺う。

②三桜酒造跡地の位置付け及び利活用について検討するとあるが、現時点での市長の考えを伺う。

(4)「産業と働き方をアップデート」について

① 農業については、農畜産物の生産拡大による農業産出額の更なる増加に努めるとあるが、その具体策を伺う。

② 林業については、「木を伐って、使って、植えて、育てる」という持続可能な循環型林業を目指すとあるが、具体策を伺う。

③ 水産業については、浜田漁港の水揚量の増大に向け、地元漁船の存続支援や外来船の入港促進に取り組むとあるが、具体策を伺う。

(5)「デジタルで暮らしと経済を前進」について

①地域全体でのDXについて、市長が現時点で考えている内容を伺う。

②高齢者やデジタルサービスが苦手な方への配慮を含め、「誰ひとり取り残さない」やさしいデジタルの実現に向けた具体策を伺う。

③「(仮称) 浜田市 DX 推進計画」を策定するとあるが、その内容、スケジュールなど策定に向けた計画を伺う。

(6)「コミュニティの力で地域を再生」について

①地域に関わる学生や研究者が増えており、研究活動への支援や共同研究・インターン等を通じ、双方向の関係を構築して若者の学びと地域定着を促すとあるが、その具体策を伺う。

②まちづくり振興基金を活用した「中山間地域振興枠」について、予算額、財源、期間など、今後の実施に向けた計画を伺う。

(7)「戦略的な生活基盤の維持」について

①地域防災力の向上に向け、自主防災組織の組織率を高め、その育成に努めるとあるが、具体策を伺う。

②公共交通について、市民・交通事業者・行政が一体となり、新技術の活用なども含め持続可能な公共交通体系の構築を図るとあるが、具体策を伺う。

③「地域包括ケアシステム」の構築に向け、医療・介護連携の推進、介護予防・認知症施策の推進、権利擁護支援体制の強化などの取組について伺う。

④地域医療について、地域ニーズと人口構造の変化に対応し、機能分化と相互連携による浜田医療圏の医療体制を構築するとあるが、市長の考えを伺う。

⑤浜田処理区下水道整備事業は令和 8 年度中の供用開始に向けて工事を進めるとともに接続支援を検討するとあるが、人口減少が進む中で今後も下水道整備を進めるのか、浄化槽等でまちづくりを行うのか、市長の考えを伺う。

(8) 財政運営について

① 個人版ふるさと寄附の寄附額増加に向けた取組、及び企業版ふるさと納税において企業向けの情報発信を強化しトップセールスを行うとあるが、増額に向けた具体策を伺う。

以上

一般質問発言通告書

議席番号 2 番

氏名 今田 実延

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 鳥獣被害対策について

(1) 捕獲及び処理体制について

- ① 現在、捕獲された鳥獣の処理はどのように行われているかの現状を伺う。
- ② 処理施設の受け入れ体制での課題について伺う。
- ③ 今後の衛生的かつ効率的な処理体制の整備について伺う。

(2) 捕獲体制の強化について

- ① 鳥獣被害防止に取り組む猟友会の高齢化が進んでおり、後継者の確保や若手の参入促進のための支援策について伺う。
- ② 報奨金や機材支援、効率的な処理体制について、現場の実情把握及び見直しの検討について伺う。

(3) ジビエ活用の推進について

- ① 浜田市内または広域連携によるジビエ処理施設・流通の整備について伺う。

2 浜田市地域公共交通計画について

(1) 交通現状と課題認識について

- ① 中山間地域における現行の市生活路線バス・市予約型乗合タクシー・民間タクシーの運行状況・利用状況の分析について伺う。

(2) 将来の交通政策の方向性について

- ① 市街地・沿岸部・中山間地域で交通ニーズや人口構成に差があるが、地域ごとのきめ細かな実施プラン(例えば便数の増便や運賃補助の増額)について伺う。

3 浜田市ふるさと同窓会支援事業補助金について

(1) 利用実績及び効果検証について

- ① 制度開始以降の申請件数・交付件数・交付総額・参加人数の平均及び年齢構成を伺う。
- ② 若者の市内回帰や市への関心向上について具体的成果を伺う。

発言No.

15

受付No. 2

令和 7 年 11 月 14 日
14 時 52 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 4 番

氏名 遠藤祐之

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 保育士の処遇改善について

(1) 浜田市の保育士の総数について

- ① 浜田市の保育士の総数を伺う。
- ② 浜田市長は、将来的に保育士の数と質の確保について何をされるのか考えを伺う。
- ③ 保育士の処遇改善について、市長は現時点で具体的な考えがあれば伺う。
- ④ 保育士の総数と併せ処遇改善について具体的な考えがあるとすれば、おおよその金額が算出されると思うが、財源はどこから補うのか考えを伺う。

2 市の財政力指数について

(1) 浜田市の財政力指数の向上について

- ① 浜田市の財政力指数は県内でどのようになっているのか現状を伺う。
- ② 浜田市の財政力指数は決して高い基準にはないと考えられるが、具体的にどのような政策を実行するのか考えを伺う。
- ③ どういった計画でこの課題を解決するおつもりなのか考えを伺う。
- ④ また、その期間や、目処はいつまでと考えておられるのか考えを伺う。

3 市役所業務のDX化について

(1) 市役所業務の簡素化、簡略化について

- ① 現在、市役所業務における紙による資料に係る費用の総額を伺う。
- ② 今の時代、紙ベースではなくデジタルを活用し、市民の来所の手間を省いていく必要があると考えるが、市長のご意見を伺う。
- ③ 本格的なDX化はいつ頃を目処に考えておられるのか伺う。

発言No.

16

受付No. 9

令和7年11月19日

14時2分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 1 番

氏名 西田 一平

答弁を求める者

(○をつける)

☒ 市長 ☐ 教育長 ☐ 監査委員 ☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長 ☐ 固定資産評価審査委員会委員長 ☐ 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 美又温泉新施設・飲食機能強化について

(1) 飲食店誘致の現状と課題について

- ① 美又温泉国民保養センター再整備基本計画における飲食店等の商業施設用地の民間事業者への公募貸付方式について、応募状況や事業者の関心度など、現在の進捗状況を伺う。
- ② 2026年12月の外湯施設オープン時に、日本一の美肌の湯に相応しい飲食店が整備される見通しについて伺う。

(2) 観光拠点としての飲食機能の重要性について

- ① 基本計画で掲げられた「温泉、食、遊び、コスメ、癒し」の5つの美肌コンテンツにおいて、食が果たす役割について市の認識を伺う。
- ② 2028年度の目標利用者7万800人を達成するため、外湯施設と飲食店の相乗効果をどのように創出していく方針か伺う。

(3) 既存の商業支援制度の課題について

- ① 現行の浜田市商業支援事業補助金(最大200万円、補助率1/2)が、美又温泉地区での飲食店開業において十分な誘致効果を発揮できているか、市の評価を伺う。
- ② 温泉地特有の課題(初期投資の高さ、季節変動リスク、物流コスト、高品質要求等)に対して、既存制度で対応可能か見解を伺う。

(4) 美又温泉地区特化型支援制度の創設について

- ① 美又温泉地区に限定した飲食店開業支援補助金(補助上限500万円、補助率2/3、地域食材活用等の加算制度、家賃補助等)の創設について、市の見解を伺う。
- ② 質の高い飲食事業者を誘致し、外湯施設との相乗効果で美又温泉全体の魅力向上を図るための具体的な支援策について伺う。

(5) 予算措置と財源確保について

- ① 美又温泉地区特化型の飲食店支援制度について、令和8年度予算での検討の可能性を伺う。
- ② 地方創生推進交付金、島根県的美肌観光推進事業との連携、ふるさと納税の活用など、想定される財源確保策について伺う。

(6) 食による観光戦略の総合的展開について

- ① 美又温泉における「食べて、浸かって、美しくなる」美肌観光の聖地としてのブランド構築について、市長の決意を伺う。
- ② 補助金制度と併せた総合的な施策(フードフェスティバル、料理人研修、美肌メニューコンテスト、食と温泉の周遊パッケージ開発等)の実施可能性について伺う。

2 観光行政の改革について

(1) 広島県における観光推進体制の改革事例について

- ① 広島県が令和2年4月に実施した観光課と観光連盟の一元化、実務執行の観光連盟(HIT)への集約について、市長の評価を伺う。
- ② 広島県の改革による成果(業務効率化、データ分析の内製化、マーケティング機能強化、民間的経営手法の導入等)について、本市が学ぶべき点をどう捉えているか伺う。

(2) 観光行政の現状と課題認識について

- ① 現在の観光交流課と浜田市観光協会の役割分担について、どのように整理されているか伺う。
- ② 令和2年度財政援助団体監査結果で指摘された課題(経理規定の見直し、組織の充実、市補助金への高い依存度約65%、補助金交付要綱と実態の乖離等)について、市としての現状認識と改善策を伺う。
- ③ 今後、観光交流課と観光協会の関係をどのように発展させていくべきと考えるか、市の方針を伺う。

(3) 観光交流課業務の観光協会への移管可能性について

- ① 観光交流課が担っている業務のうち、観光協会に移管することで、より効率的・効果的に実施できる業務(観光プロモーション、イベント企画実施、観光情報発信、インバウンド対応等)はあると考えるか、見解を伺う。
- ② 業務移管による効果(行政改革の推進、観光振興の質的向上、財政の効率化)について、市の認識を伺う。
- ③ 段階的な業務移管(第1段階:観光協会の組織強化支援、第2段階:本格移管とDMO登録検討、第3段階:データドリブンなマーケティング実装)について、検討する考えがあるか伺う。

(4) 段階的改革に向けた調査研究の実施について

- ① 観光行政改革に向けた調査研究(先進地視察、有識者による検討委員会の設置、パイロット事業の実施等)を実施する考えはあるか伺う。
- ② 調査研究のための予算措置について、市の見解を伺う。
- ③ 具体的な調査研究の開始時期と、次年度予算への反映について、市の方針を伺う。
- ④ 本市の観光資源を最大限活用し、「何度も訪れたくなる魅力的な観光地」として発展させるための観光行政改革について、市長のリーダーシップと決意を伺う。